

視察研修報告書

令和6年1月18日(木)から19日(金)まで（総務建設常任委員会）

視察研修のため、（群馬県高崎市・藤岡市）での研修に参加しましたので、その内容について別紙(下記)のとおり報告いたします。

粕屋町議会議長 小池 弘基 様

令和 6年 2月 7日

職 名 粕屋町議会総務建設常任委員会

氏 名 安藤 和寿

報告事項 （ 総務建設常任委員会視察研修 ）

（1）研修内容の報告

1. 高崎市・藤岡市都市計画道路の見直しについて

高崎市の人口 368,026 人、面積 459,16 km²、藤岡市人口は 63,291 人、面積 180,29 km² 双方とも高速自動車道のインターに隣接した自治体であり群馬県が示す都市計画ガイドラインから見直し方針を策定、スケジュール化、将来像の整理見直しの背景の整理から費用対効果を含んだ見直し検討現在の少子高齢化から将来の人口減少などを踏え新たな道路ネットワークを構築する必要と判断、路線の必要性の検証を行っていた。調査内容の中に市民説明会の実施、アンケート調査、道路の必要性、実現性、総合評価、道路ネットワークの検証から見直し方針の作成で県のガイドラインに基づく内容であった。藤岡市では都市計画区域が存在し立地適正化計画から土地利用の誘導がなされ都市計画マスタープランの高度化として位置づけの見直し検証から対象路線の抽出、社会情勢の変化に基づいた見直し計画を行い検証フロー定量的評価→定性的評価→検証の成果内容が具体的に示めされていた。特に定量的評価路線では車線数及び幅変更を検討するなど具体的な見直しが図られていた。

（2）粕屋町の状況

都市計画マスタープランに基づく計画の計画道路において現状の交通体系、将来の交通体系が重点事業である福岡東環状線など主幹道路整備の早期完了が遅れている状況であり現在の交通体系による利便性、安全性、を感じさせない状況である。

（３）課題と対策、町への活用等

都市計画図上に存在する町の重点事業と計画道路の見直し検証確認から住民説明会の実施、アンケート調査→ガイドラインに基づく見直し方針の作成（廃止・変更・存続）早期に再検討→都市計画変更手続きに向けて進めて行く必要がある。

（感想）

今回訪れた群馬県高崎市・藤岡市は東西南北に往来する関東物流ネットワークの中継拠点で道路ネットワーク・面積を粕屋町と比較すると十分とも言える道路網と面積から過去の都市計画道路案から現在の需要と供給を踏まえ見直しが図られていた。現在の粕屋町の現状と将来増を鑑み専門的な考えから国・県から早急な協力無しでは粕屋町における道路ネットワークの検証→見直し方針の作成→実施は図れない。粕屋町都市計画道路の見直し検討結果に基づき道路の幅員も含んだ検討が必要と感じられた。

以上